



昭和学院中学校・高等学校

〒272-0823 市川市東菅野2-17-1 TEL 047-323-4171~5
http://www.showa-gkn.ed.jp/js/ FAX 047-326-5310

昭和学院 広報

第33号

2020.3.24(火)

令和元年度 卒業証書授与式



「卒業の言葉」を述べる宮代花菜さん



▲ 総代の西山七海斗君

なった。午前10時から卒業生367名、教職員約100名が参加し、規模は小さいながらも厳粛な雰囲気の中開式となった。

普段の卒業式とは違う雰囲気に生徒も戸惑い気味であったが、卒業証書授与では、各クラスの担任が卒業生一人ひとりを呼名すると、真つすぐ前を見据え堂々と起立していた。その姿から3年間の成長が感じられた。本年度より新設された昭和学院6年間皆勤賞精勤賞を加えたその他の表彰では、呼名、起立での紹介のみとなったが、在学中の生徒の活躍が称えられた。また、本来であれば、高校生活

3年間の思い出や、感謝、今後の決意を述べる答辞も「卒業の言葉」となった。生徒代表の宮代花菜さんの「涙ながらに考えた答辞を伝えられない



▲ 最後のクラス写真

去る3月5日(木)に、令和元年度第71回高等学校卒業証書授与式が、本校メインアリーナで挙行された。今年度の卒業式は、新型コロナウイルスの影響により保護者及び来賓の方々の参加はなく、卒業生と教職員のみでの式と

のは残念です。3分間ではこの思いを伝えきれません。」との無念さを込めた言葉もあったが、学校生活での感謝の気持ちが述べられていた。その言葉に卒業生一人ひとりがこの日を迎えるまでの月日を思い返し、会場全体が感動に包まれていた。短縮しての実施ではあったが、出席できない保護者へインターネット中継を実施した。



▲ 先生方に見送られる卒業生

その後、各クラスに戻りホームルームを行った。担任は限られた時間の中で、伝えたい思いの全てを込めて言葉を贈った。卒業生もその気持ちを受け止めながら、真剣な眼差しで聞いていた。そして、全職員が作った花道を盛大な拍手の中、正門へと移動する卒業生の表情は晴れやかであった。

全国的に卒業式中止する学校もある中、生徒、教職員のみでの卒業式ではあるが、実施するという決断をし、無事に終えることができた。教職員が心を込めて準備した今回の式は、卒業生たちの思い出に残る式となったであろう。367名の生徒たちが、笑顔でこの昭和学院を巣立っていったことが何よりも幸せであった。



▲ 仲よし7人組

SHOWA GAKUIN

中3

オーストラリア語学研修



▲ ドリームワールドにて

2月21日(金)～2月29日(土)にかけて、オーストラリアのクィーンズランド州ブリスベンにて、学年全員で参加する最初の海外語学研修が行われた。生徒は、Saint Stephen's College, Brisbane Christian College, Ipswich Grammar School, Ipswich Girls' Grammar Schoolの4校に分かれ108人が参加した。

成田空港を出発し、ブリスベン空港に到着。そして、ホストファミリーが待つ学校へ向かった。今回は2人で1家庭にお世話になる。緊張した表情の生徒たちをファミリーが笑顔で迎えてくれて緊張が和らぎ、笑顔で各家庭へ向かいホームステイがスタートした。ファミ

リーとは、公園にカンガルーを見に行ったり、ショッピングに行ったりして楽しく過ごしていた。学校では、パートナーとなる現地の生徒(パディ)と共に授業を受けた。英語のリスニングに苦戦しながらも、積極的に発言するなど熱心に参加していた。現



▲ アニマルエンカウンター
地の生徒は、自分のパソコンを持ち歩き、全てパソコンで授業が進んでいた。生徒たちは日本では体験できないような活動に刺激を受けていた。最初は、英語が苦手なパディと過ごすのが大変だ、授業がまったく分からなくて辛いという生徒がいたが、優しく丁寧に教えてくれるパディが多く、学校に通う最終日はパディとの別れを惜しんでいた。

最終日の早朝、生徒たちはホストファミリーとの別れに涙を流していた。出発前は、海外で過ごすことへの不安や、9日間も家族と離れて生活することに緊張していた生徒も「まだ日本に帰りたくない」という声になっていた。

今回の海外語学研修では、いままで身につけてきた英語の力を試すことができ、相手に通じたことで自信になったようだ。また、親元を離れて生活し、異文化に触れたことで日本の素晴らしさを再認識していた。語学力だけでなく、様々な面で成長がみられた研修となった。▲ 現地の学生と学ぶドラマの授業



合唱コンクール



▲ グランプリ3年3組

2月3日(月)に中高合同での合唱コンクールが行われた。今年は例年に比べて練習時間が少ない中で本番を迎えたが、それぞれのクラスが紆余曲折ありながらも短い時間を団結して練習し、本番ではその成果を存分に発揮して、素晴らしい指揮、伴奏、合唱を披露した。結果は、高校のグランプリは1年I組「虹」、中学校のグランプリは3年3組「明日のために」だった。どちらのクラスも素晴らしい声量やハーモニーで圧巻の合唱だった。惜しくもグランプリを逃したものの、プラボー賞や奨励賞のクラスも素晴らしい合唱を披露してくれた。

合唱コンクールは毎年の恒例行事なので去年よりも今年、今年よりも来年というように毎年の反省を生かし、生徒会を中心として、各クラス、教職員ともに学校として一丸となってより良いものを作り上げていきたい。

中学校 ビブリオバトル

1月29日(水)第5・6限に中学校ビブリオバトルが伊藤記念ホールで行われた。各クラスの代表が自分のおすすめ本を持ち寄って、その本の魅力を自分なりの言葉で紹介した。生徒たちは、長い時間をかけて準備を行ってきた。毎日の「朝読書」で紹介したい本を選び



▲ 優勝した柴田 権君
1学期末・2学期末と各クラス内で代表を決める予選を行い、生徒間投票をもって代表者を選出した。クラスの代表となった生徒は、皆精一杯におすすめ本を紹介した。それぞれが、自分のおすすめ本に対する熱い思いを大いに語ってくれた。そんな発表者の話を全校生徒は熱心に聞き入っていた。そして、発表後の質疑応答では積極的に手が挙がり非常に活発な時間が流れていった。出場生徒全員の発表終



▲ ビブリオバトルの様子

了後の投票でチャンプ本に選ばれたのは、3年4組柴田権君が紹介した「すべての教育は「洗脳」である。」(堀江貴文著)であった。優勝者である柴田君は3月29日(日)に「昭和女子大学」で行われる「第3回全国中学校ビブリオバトル決勝大会」に出場する予定となっている。

新 生 徒 会



昨年12月4日(水)に生徒会選挙が行われ、1月8日(水)に新生徒会役員が任命された。会長の戸田君は「今期生徒会の目標は、生徒一人ひとりが学校を楽しんでもらえるように、例年とは違う学校行事を開催するための運営や、学校の校則を緩和していくなどを目標に、頑張りますので、ご協力よろしくお願ひします。」と、意気込みを語っている。

会 長	戸田 涼翔 (2H)
副 会 長	五十嵐 えり (2B)
副 会 長	竹石 翔馬 (1C)
書 記	山田 慶次郎 (2J)
書 記	伊藤 空 (1B)
会 計	清水 優希 (2I)
会 計	進藤 大翔 (1E)
会 計 監 査	松浦 陽香 (2A)
会 計 監 査	関 祐明 (1D)

SHOWA GAKUIN

表彰者

今年度行われた学内行事、及び学外でのコンクール等で表彰されたみなさんをご紹介します。

第50回千葉県私学教育功労賞



永年にわたり私学の発展と教育に貢献した功績が称えられ、関岡守教頭は千葉県知事感謝状を、倉田透教諭・松田ひとみ教諭は教育功労者として表彰状を授与されました。

第6回全国高等学校ビブリオバトル千葉県大会

10月27日 於：明海大学浦安キャンパスメディアセンター
各校代表22名の発表者(バトラー)が参加し、本校の2名が予選を突破。4名による白熱した決勝戦が行われました。決勝は接戦の結果、2名ともに優秀賞に輝きました。おめでとうございます。



優秀賞 松澤 和哉 (1-A)
益子 隼斗 (1-F)

夏休み作品展

会期：9月22日～25日

校長賞

書道科 中 石井 心菜 (3-2)
高 金子 来夢 (3-D)



美術科 中 『家の周辺に集まる生き物たちの共鳴』 (写真集)

高 嶋田 義輝 (1-1)

高 『しつけの仕方』 (絵画とレポート)

家庭科 高 『刺し子のランチョンマット』 (手芸)
賀部 寿音 (2-G)

技・家 中 『アレンジバッグ』 (手芸)
小笠原天音 (1-3)

社会科 中 『生き残る』 (レポート)
北濱 遙人 (2-1)

理科 高 『見えて・見えない 植物の奥の謎!』 (自由研究)
齊藤 祐里 (1-H)

中 『泥水から凍り方を利用してきれいな水を取り出そう』 (自由研究)
石井 里佳 (2-1)

朗読コンテスト

学内本選：11月28日

中学校 **1位** 原子 依楓 (2-1) 高等学校 **1位** 大木 海琴 (1-A)
2位 吉田 翔唯 (3-4) 2位 天野 芽香 (1-A)
3位 小池陽香理 (2-1) 3位 土田愛日奈 (1-G)
3位 鈴木 彩心 (1-1)



書初め展

会期：1月31日～2月1日

校長賞

中学校 塚本ひかり (3-3)
高等学校 下嶽 有咲 (2-G)



第41回全日本中学生水の作文コンクール

(応募総数12,760編)

奨励賞 森 一真 (1-5)

応募作品：「水を使う人の責任と汚染について」



税の作文コンクール

(応募総数578,204編)

佳作 山本真美子 (1-3)
山本 陽香 (1-5)
長瀬 優月 (1-3)



第65回青少年読書感想文千葉県コンクール

課題図書『ヒマラヤに学校をつくる：カネなしコネなしの僕と、見捨てられた子どもたちの挑戦』吉岡大祐著 (旬報社)

高等学校の部 **佳作** 中山 里咲 (2-A)

応募作品：「貧困のない未来へ」



WFPチャリティー エッセイコンテスト2019

～あなたのエッセイが途上国の給食に～
(応募総数21,422通)

「私のとっておきごはん」

中学生・高校生部門 **佳作** 渡邊 美優 (2-B)



中学校 百人一首大会

大会日：2月5日

	優勝	第2位
中1	1組	2組
中2	2組	1組



最優秀賞

松本万喜峰 (1-4)
大熊 美来 (2-1)

優秀賞

濟間 碧依 (1-1) 井上 美咲 (1-1)
伊藤 優汰 (1-2) 長窪 一葉 (1-3)
佐久間悠輝 (1-1) 金田 優奈 (1-5)
西島 由梨 (1-5) 濱本 楓大 (1-3)
角田 帆華 (2-2) 笹山愛心羽 (2-2)
森岡 琉 (2-2) 渡辺 莉央 (2-1)
櫛田 茉那 (2-1) 藤林 美陽 (2-4)



SHOWA GAKUIN

活躍する部活動

バスケットボール部(女子)

令和元年度の目標に全国制覇という大きな目標を掲げて活動を進めてきました。今年のチームは大黒柱が不在のため、選手全員が必死に取り組んでいました。大会結果は令和元年度関東高等学校女子バスケットボール大会で優勝したものの全国高等学校総合体育大会、



▲千葉県新人戦表彰式後

全国高等学校バスケットボール選手権大会においては力が及ばず入賞することができませんでした。最後に先生方をはじめ、保護者の皆様にお礼申し上げてご報告させていただきます。

サッカー部

現在部員は11名ですが、今年度の新人戦ではブロック予選を勝ち抜き、県大会でも6年ぶりに1回戦を突破しました。全国屈指の激戦区の千葉県を勝ち抜くことは決して簡単ではありませんが、全員がチームのために行動し、一致団結することで確実に力をつけています。1つの目標であった県リーグ昇格は、あと一步のところでしたが、一戦必勝の気持ちで一つでも上を目指し、応援してくださるすべての人たちへの感謝を忘れず、チーム全員で戦っていきます。



▲千葉県高等学校新人サッカー大会

剣道部

剣道部は、部員一人ひとりが志を高く持ちながら日々鍛錬に励んでいます。部の方針である「交剣知愛」の精神に基づき、剣道を通じての相互理解と尊重による人間的成長を目指しています。



▲「交剣知愛」を方針とする剣道部

公式戦では、男女そろって県大会上位進出を目標としていますが、残念ながら今年度は目標を達成できませんでした。今年度の反省を踏まえ、次年度は目標を達成できるよう全員で努めています。

プログラミング同好会

プログラミング同好会は、平成30年7月に設立されました。主な活動は、htmlのタグ入力でのWEBページの制作、Scratchでのゲームソフトの制作です。昨年の桜和祭では、桜和祭委員、広報部と協力して、外部に向けての「桜和祭WEBページ」を制作しました。桜和祭に参加するすべての部活・クラスについて、映像などを織り交ぜたWEBページは大変好評を得ました。現在は、部員有志による講習会を定期的に開いて、プログラミングの技術を磨いています。



▲プログラム作成中

バトン部

第47回バトントワーリング全国大会が12月7日幕張メッセで行われました。この大会に「中高共に出場すること」を目標に努力し、今年度も関東代表として出場することができました。特に高校生は金賞を目標に技術の向



▲中学校団体

上だけでなく、基礎基本を徹底し、日々の練習に励みました。中学生は初心者が多いなか、気持ちを一つに精一杯の演技ができ、銀賞を獲得することができました。高校生は残念ながら銀賞でしたが、中高共にこれまでで一番良い演技を披露できました。

中学ハンドボール部

現在2年生2名、1年生8名の10名で活動をしています。今年度の県新人戦では準優勝をし、春の全国中学生ハンドボール選手権への出場をかけた千葉県代表決定戦に出場することができました。残念ながら代表になることはできませんでしたが、新人戦では1点差、代表決定戦では2点差で敗れたことを教訓に、1点の重みを考えながら日々の練習に取り組み、チームとしてさらなる向上を目指しています。今後も部活動だけでなく、学校生活にも一生懸命取り組み、周囲の人に心から応援していただけるよう、チーム一丸となって取り組んでいきます。



数学研究同好会

私たち数学研究同好会は今年度夏に発足した新しい同好会です。数学研究同好会では身近にある事柄を数学的に探究していくことを目標に活動しています。これまでに五円玉の穴を利用して月の直径の計測をしました。現在は、高校1年生は面接のときにどのような方法で人を選ぶとなるべく短い期間で得点の高い人を採用することができるかという最適停止問題の研究を行っています。

高校2年生はProcessingというプログラミング言語を用いてオセロを作成しました。今後はさらに内容を発展させ、簡単なAIの仕組みを用いた対戦を組み込みたいと考えています。

また他にも「円周率はなぜ3.14なのか」、「素数は本当に無数にあるのか」といった授業ではなかなか扱われない数学の疑問を研究しています。

クライミング同好会

一昨年から活動をスタートしたクライミング同好会は部員が12名増え、練習にも活気が出てきました。今年度は、千葉県一年生トップロープ大会で男子個人2位、女子個人8位、千葉県ボルダリング大会では男子団体6位入賞するなど練習の成果が成績に表れてきています。また、目標であった4月に行われる国体千葉県予選会にも出場が決定しました。今後は、各大会でより良い成績を残せるよう、これまで以上に努力していきます。



▲千葉県1年生大会表彰式後

SHOWA GAKUIN

春の全国選抜大会など

新型コロナウイルス感染防止対策のため、全ての大会が中止になりました。

高校 ハンドボール部男子 池畑 大先生

第43回全国高等学校
ハンドボール選抜大会
千葉県市川市塩浜市民体育館、他
3/24 (火) ~29 (日)



高校 ハンドボール部女子 佐藤 奏吉先生

第43回全国高等学校
ハンドボール選抜大会
埼玉三郷市総合体育館、他
3/24 (火) ~29 (日)



高校 新体操部 塩屋 恵美子先生



第35回全国高等学校
新体操選抜大会(団体)
兵庫県グリーンアリーナ神戸
3/18 (水) ~20 (金)

高校 ソフトテニス部女子 高橋 章典先生



第45回全日本高等学校選抜
ソフトテニス大会
愛知県スカイホール豊田
3/27 (金) ~30 (月)

中学 ソフトテニス部 高原 良江先生

第31回都道府県対抗
全国中学ソフトテニス大会(個人・団体)
三重県
サンアリーナ
3/26(木)~28(土)



中学 バドミントン部 積田 亨先生

第20回全日本中学生
バドミントン選手権大会(個人)
八王子エスフォルタ
アリーナ八王子
3/27(金)~29(日)
秋本・篠原ペア



バスケットボール部(女子) 一関 智子先生

全国U15
バスケットボール選手権大会プレ大会
武蔵野の森総合
スポーツプラザ
3/26(木)~29(日)



奨学会だより

登校時の活動

2月1日(土)、保護者会の日程に合わせて厚生補導部朝の校外活動が実施されました。7時30分警備員室前に集合。7時40分から数か所に分かれ、生徒の登校の様子を見ながら挨拶と交流を行いました。今回は17名の参加があり、元気に活動する保護者の方々からは『生徒の普段の様子が見られてよかった』などの声がありました。8時10分に再集合し、田口部長より温かいお茶が配布され解散となりました。1年間の活動に感謝申し上げます。



▲ 活動の様子

部会・常任理事会開催

第3学期の部会・常任理事会が、2月22日(土)に開催された。今年度の活動を振り返るとともに、来年度に向けて奨学会の活動をさらに活発にしていこうとの話し合いである。今回は部会が別日に設定されたところも多く、当日の部会は一部で実施された。常任理事会では、総務・学習施設・文化教養・厚生補導・行事推進・母姉の各部会の活動報告を受け、多岐にわたる種々の議論を活発に行った。

今年度は例年に増して学校行事に協力する場面が多く、受験生向けの学校説明会など、多くの行事に積極的に関わった。その結果、今までは気づかなかった改善点も多く見いだされることになった。来年度は創立80周年事業がいよいよ完成する。学院も大きく飛躍を遂げる年になる。奨学会も会員の皆さんとともにさらなる成長を果たしたいと考えている。

奨学会の活動を通じて

本年度も保護者の皆様におかれましては、日頃より奨学会の活動に対しましてご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。奨学会理事を代表して厚く御礼申し上げます。

奨学会活動を振り返ると、桜和祭では歓迎ゲートを一新、バザー会場と奨学会展示室を隣接して運営し多くの方々に来訪いただきました。バス研修旅行では未病体験施設「BIOTOPIA」の見学と箱根神社で合格祈願と各部活動の必勝祈願をバス2台で催行し好評をいただきました。文化講演会では元プロテニスプレイヤーの杉山愛さんをお迎えして「世界一の継続力」〜グランドスラム62回最多出場の裏で〜をテーマに講演いただき大盛況でした。また各部活動の大

会の応援とご案内を本年度からはスタディサプリ連絡帳を利用して情報発信に努め、保護者向けの学校施設案内、学校説明会のお手伝い、校外活動として登校時の朝の挨拶運動を実施してまいりました。奨学会では各々協力し長年培ってきた事業を継承しつつ過去の反省点を生かして新たな取り組みを実施してまいりました。これからもチーム昭和の一員として、昭和学院の応援団として、皆様のお役に立てる事業を実施してまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲会長 山崎 憲一

主な合格状況

(3月10日現在)

四年制大学

<国立大学>

筑波大	1	共立女子大	4
千葉大	2	実践女子大	1
茨城大	1	昭和女子大	6
福井県立大	1	清泉女子大	1
		跡見学園女子大	2

<私立大学>

早稲田大	2	桜美林大	3
東京理大	9	開智国際大	4
青山学院大	5	亀田医療大	3
立教大	2	神奈川大	2
中央大	9	関西外大	1
法政大	8	川村学園女子大	3
明治大	9	関東学院大	2
学習院女子大	2	共栄大	2
日赤看護大	2	敬愛大	2
立命館大	3	神戸松蔭女子大	1
立命館アジア大	1	国際医療福祉大	5
國學院大	4	国際武道大	1
明治学院大	3	埼玉学園大	1
獨協大	10	埼玉工大	1
東京農大	3	作新学院大	1
東邦大	11	秀明大	1
北里大	1	淑徳大	6
順天堂大	7	松蔭大	1
日本大	34	城西国際大	8
東洋大	13	杉野服飾大	1
駒沢大	16	駿河台大	1
専修大	9	聖徳大	10
大東文化大	4	西南学院大	1
東海大	9	仙台大	1
亜細亜大	4	創価大	1
帝京大	11	大正大	1
国士館大	8	高千穂大	1
東京電機大	1	拓殖大	1
武蔵野大	7	玉川大	2
文教大	3	千葉工業大	66
神田外語大	3	千葉商大	8
大妻女子大	3	つくば国際大	1
		中央学院大	5

帝京科学大	1
帝京平成大	11
桐蔭横浜大	1
東京医療保健大	5
東京家政学院大	1
江戸川大	2
東京経大	5
東京工科大	2
東京国際大	1
東京情報大	6
東京聖栄大	1
東京女子体育大	2
東京成徳大	5
東京都市大	1
東京未来大	1
東都医療大	4
東洋学園大	1
二松学舎大	3
日本工大	2
日本獣医生命科学大	2
日本女子体育大	2
日本文化大	1
日本保健医療大	1
福山大	1
文化学園大	1
文京学院大	4
武庫川女子大	1
明海大	9
明星大	2
目白大	5
ヤマザキ動物大	1
山梨学院大	2
横浜美大	1
立正大	1
流通経済大	3
了徳寺大	4
麗澤大	2
和洋女子大	9
テンプル大	1

短期大学

昭和学院短大	11	千葉職業能力開発短大	1	東京立正短大	1
上野学園短大	1	千葉明德短大	1	東邦音楽短大	1
大妻女子短大	2	戸板女子短大	1	日本歯大東京短大	1
女子美術短大	2	東京歯短大	1		

専門学校

亀田医療技術専門学校	1	土浦看護専門学校	1	船橋看護専門学校	1
帝京高等看護学院	1	つくば看護専門学校	1		

就職

社会福祉法人秀孝会、千葉ロッテマリーンズ、市川消防局

延合格数

4年制大学 484 短期大学 23 専門学校 54 就職 3

合格者の横顔

みなさんおめでとうございます。質問は次の①～⑤です。

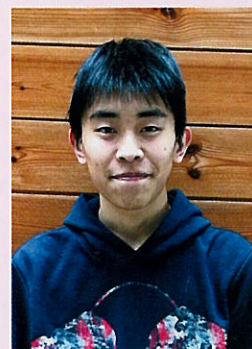
- ①クラス・文理の別・氏名 ②現在までの合格校
- ③努力したこと ④平均学習時間(平日・休日)
- ⑤後輩へのアドバイス



①3A理系 檜橋 皇真②早稲田大学教育学部、早稲田大学スポーツ科学部、東京理科大学理学部、明治大学理工学部、明治大学総合数理学部、青山学院大学理工学部、中央大学理工学部、立教大学理学部、日本大学理工学部③規則正しい生活を心掛け、集中して学校の授業に臨んだ。④平日4時間休日8時間⑤何事も基礎が大事です。それゆえ、勉強の基礎となる学校の授業はとても重要だと思います。千里の道も一歩からという諺もあります。

日々の学習を疎かにせず地道に積み重ねることこそが、大きな夢に達する一番の近道だと思います。ぜひ、頑張ってください。

①3A理系 関 康平②千葉大学教育学部(学校/数学)、東京理科大学理学部第一部、東京理科大学理工学部、中央大学理工学部、東邦大学理工学部、法政大学理工学部、日本大学理工学部③学校でも予備校でも、授業の予習復習を欠かさなかった。また、教科によっては予習重視、復習重視を使い分けていた。④一学期 平日3、4時間 休日10時間 夏休み10～12時間 二、三学期 平日5、6時間 休日10時間⑤予習、復習が全てです。



①3D文系 伊東 和希②青山学院大学経営学部、法政大学経営学部、東洋大学経営学部、専修大学商学部経営学部、駒澤大学経営学部、千葉商科大学商経学部③英語を優先的にやりました。長文は毎日1題ずつやるようにし、音読も欠かさずやり、英文を英文のまま読めるようにしました。④平日8時間・休日14時間⑤今年が入試改革で私大も含め大変だと思います。しかし言い換えると現役生も浪人生も全員条件は同じなので、逆にチャンスだと思ってください。応援しています！頑張ってください！

進路指導を振り返って

高校3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今年度の在籍生徒数は367名。推薦・AOの受験方式での四年制大学での合格者数は、筑波大学・青山学院大学・法政大学等合計166校、

高校3年生全体の45%に当たります。また、一般入試に挑戦した生徒は134名。最後まで粘り強い努力を続け、進路を決定しました。

今年度も昨年度同様、大都市圏の大学入試は厳しいものでした。大学入試改革が来年度に控えており、浪人を避けたいという超安全志向が見られました。AO入試が予定より早く終了してしまう、入りやすいと言われてきた大学に受験者が集まり難化する、

センター入試の自己採点では予備校でA判定となっても合格できないといった現象も起きました。その中で合格を勝ち取っていった人々には次の三つの共通点があります。①早い段階で、自分の志望を明確にし、進路目標を具体的に定め、努力を重ねたこと。②学校の授業をないがしろにせず、基礎基本を定着させたこと。③自ら情報収集を行い、自分の現状をきちんと分析し、先生方からの助言にも耳を傾けたこと。

下級生の皆さんは、共通テストの変更もあり、不安でいっぱいだと思います。しかし上記の三点を心がけ、先輩方に続いてください。

卒業生の皆さんは、自分の進路を決定していく過程で、多くのことを学ばれたと思います。それは皆さんが新たな道を切り開いていく上できっと役に立ちます。皆さんが次のステージでも活躍されるよう願っています。



▲ 進路指導部長 松田ひとみ教諭